

(営業時間) 月～金
9:30～16:00
(送迎) なし

法人理念: 「良い夢を創る」すなわち、子どもたちとご家族が生活に対する夢を創造し、その夢を実現するための支援ができる存在であり続けることで社会に貢献します。

支援方針: 発達に特性があり、ご家庭や友だち関係、幼稚園や保育園や小学校等の集団場面で適応が難しい子どもに対して、その子の特性に合わせた個別療育を行います。子どもたちにとって「自己実現できる場」「楽しい場」「チャレンジする場」「仲間づくりの場」であり、ご家族にとって「子どもの成長を楽しむ場」「相談できる場」になることを目指しています。

<本人支援>

健康・生活

健康状態やリズムを把握し、日常生活を快適に過ごせるよう、必要なスキルを身につけるための直接・間接的な練習や環境調整を行う。

具体的には・・・ボタン留めや紐通しなどの巧緻性作業、ロールプレイなどによるお金の使い方、写真カードを用いてスケジュールを示したり、活動の残り回数を視覚的にわかりやすく示すことで見通しをもって活動できるよう促していく。など

運動・感覚

感覚特性を把握し、全身を活発に動かす活動や手指操作を中心とした活動を行い、基礎的・応用的な運動発達を促す。

具体的には・・・ブロックやターザンロープやマットなどを使ったサーキット運動を行う。ボールや風船などを使った協調運動を行う。姿勢保持を目的とした体幹トレーニングやストレッチを行う。はさみや鉛筆を使った作業を行う。カードやプリントを使ったビジョントレーニングを行う。など

人間関係・社会性

活動を通して良好な人間関係の経験を積み、円滑に社会生活に参加できるように支援と助言を行う。

具体的には・・・スタッフを含めた少人数でのグループ活動。場面ごとのコミュニケーションの取り方を促す。SST課題による他者との関わり・行動のロールプレイ。ルールのある遊び。園や学校、他事業所と連携し、環境づくりや関わり方の共有、情報交換を行う。など

認知・行動

聴覚・視覚・触覚・前庭覚・固有受容覚などの様々な感覚から情報を適切に収集して、認知機能の発達を促し、行動に繋げていく。数や量、色などの概念理解を促す活動や学習の支援、感覚・認知の偏りによるこだわりへの対応を行う。

具体的には・・・本人の理解度に合う言葉と身体の動きを併せたモデリングを行うことで理解を促し、興味・理解・指示行動を促していく。苦手な課題でも補助しながら段階的に取り組んだり、課題の量を区切るなどして提供することで取り組めるよう促していく。活動前に約束事を決め、本児が自ら確認できる環境を作ることで自己フィードバックを行う。椅子に座る、視覚刺激を減らすなどして集中しやすい環境を作り、意識を向けられるよう注意喚起を行うことで「聞く」活動がスムーズに行えるよう促す。など

言語・コミュニケーション

言語の受容と表出の基礎的能力を高め、言語・非言語による他者との適切なコミュニケーションをとることができるように支援する。

具体的には・・・構音練習・口腔体操にて単音、単語での表出を促し、正しい口唇や舌の動きを促し発話明瞭度の向上を図る。難しい場面や困難な場面では「して」など手助けの言葉かけのモデリングを行い、要求を促していく。文字を使ったゲームなどを通して仮名や数字に興味を持ってもらう。短いお話を聞いて内容を理解し、さまざまな質問に答えることで、聴覚情報の保持や処理の練習を行う。SST課題を行い、フィードバックを行うことで、場面に即した言動・行動ができるように促す。など

そのほかの支援

<家族支援>…家族と定期的に面談(話す)機会を設け、現状把握から課題の共有、解決策の提示を行います。保育施設だけに限らず生活全般での本人との関わりを支援し、療育場面を見学してもらうことで、わかりやすい支援を行います。

<移行支援>…本人に適切・必要な要素を評価・提案し、日々の療育へ取り入れ課題解決を目指し、ライフステージの切り替えに応じて関連施設と情報提供や共有を行います。

<地域支援・地域連携>…行政・連携する施設・事業所と情報共有を行います。必要に応じて、協議する場を設定し、可能な限り対面で関わる場を設定します。
学童巡回、おひさま教室(嘉麻市言語訓練)

<職員の質向上>…内・外部研修会の開催・参加
定期的な職員面談を実施し、業務内容や勤務への助言・相談を行います。

<行事>…運動会や発表会等の季節や園、学校行事に合わせた活動内容を提供することもできます。

法人理念: 「良い夢を創る」すなわち、子どもたちとご家族が生活に対する夢を創造し、その夢を実現するための支援ができる存在であり続けることで社会に貢献します。

支援方針: 発達に特性があり、ご家庭や友だち関係、幼稚園や保育園や小学校等の集団場面で適応が難しい子どもに対して、その子の特性に合わせた個別療育を行います。子どもたちにとって「自己実現できる場」「楽しい場」「チャレンジする場」「仲間づくりの場」であり、ご家族にとって「子どもの成長を楽しむ場」「相談できる場」になることを目指しています。

<本人支援>

健康・生活

健康状態やリズムを把握し、日常生活を快適に過ごせるよう、必要なスキルを身につけるための直接・間接的な練習や環境調整を行う。

具体的には・・・ボタン留めや紐通しなどの巧緻性作業、ロールプレイなどによるお金の使い方、写真カードやボードを用いてスケジュールを示したり、活動の残り回数を視覚的にわかりやすく示すことで見通しをもって活動できるよう促していく。など

運動・感覚

感覚特性を把握し、全身を活発に動かす活動や手指操作を中心とした活動を行い、基礎的・応用的な運動発達を促す。

具体的には・・・ブロックやターザンロープやマットなどを使ったサーキット運動を行う。ボールや風船などを使った協調運動を行う。姿勢保持を目的とした体幹トレーニングやストレッチを行う。はさみや鉛筆を使った作業を行う。カードやプリントを使ったビジョントレーニングを行う。など

人間関係・社会性

活動を通して良好な人間関係の経験を積み、円滑に社会生活に参加できるように支援と助言を行う。

具体的には・・・スタッフを含めた少人数でのグループ活動。場面ごとのコミュニケーションの取り方を促す。SST課題による他者との関わり・行動のロールプレイ。ルールのある遊び。園や学校、他事業所と連携し、環境づくりや関わり方の共有、情報交換を行う。など

認知・行動

聴覚・視覚・触覚・前庭覚・固有受容覚などの様々な感覚から情報を適切に収集して、認知機能の発達を促し、行動に繋げていく。数や量、色などの概念理解を促す活動や学習の支援、感覚・認知の偏りによるこだわりへの対応を行う。

具体的には・・・本人の理解度に合う言葉と身体の動きを併せたモデリングを行うことで理解を促し、興味・理解・指示行動を促していく。苦手な課題でも補助しながら段階的に取り組んだり、課題の量を区切るなどして提供することで取り組めるよう促していく。活動前に約束事を決め、本児が自ら確認できる環境を作ることで自己フィードバックを行う。椅子に座る、視覚刺激を減らすなどして集中しやすい環境を作り、意識を向けられるよう注意喚起を行うことで「聞く」活動がスムーズに行えるよう促す。など

言語・コミュニケーション

言語の受容と表出の基礎的能力を高め、言語・非言語による他者との適切なコミュニケーションをとることができるように支援する。

具体的には・・・構音練習・口腔体操にて単音、単語での表出を促し、正しい口唇や舌の動きを促し発話明瞭度の向上を図る。難しい場面や困難な場面では「して」など手助けの言葉かけのモデリングを行い、要求を促していく。文字を使ったゲームなどを通して仮名や漢字を身につけてもらう。短いお話を聞いて内容を理解し、さまざまな質問に答えることで、聴覚情報の把持や処理の練習を行う。SST課題を行い、フィードバックを行うことで、場面に即した言動・行動ができるように促す。など

そのほかの支援

<家族支援>…家族と定期的に面談(話す)機会を設け、現状把握から課題の共有、解決策の提示を行います。保育施設だけに限らず生活全般での本人との関わりを支援し、療育場面を見学してもらうことで、わかりやすい支援を行います。

<移行支援>…本人に適切・必要な要素を評価・提案し、日々の療育へ取り入れ課題解決を目指し、ライフステージの切り替えに応じて関連施設と情報提供や共有を行います。

<地域支援・地域連携>…行政・連携する施設・事業所と情報共有を行います。必要に応じて、協議する場を設定し、可能な限り対面で関わる場を設定します。学童巡回、おひさま教室(嘉麻市言語訓練)

<職員の質向上>…内・外部研修会の開催・参加
定期的な職員面談を実施し、業務内容や勤務への助言・相談を行います。

<行事>…運動会や発表会等の季節や園、学校行事に合わせた活動内容を提供することもできます。